

水稻の調査時期別作況指数及び作柄概況〔昭和44～平成22年産（全国）〕

年 次	10a当たり 収 量 (収 穫 期)	作 況 指 数				作 柄 概 況
		8月15日	9月15日	10月15日	収穫期	
昭. 44	435	102	104	103	102	中国以西は好天候により作柄良好。北海道では冷害発生。
45	442	104	105	104	103	関東以北では登熟が順調で作柄は良好。中国以西では病虫害の発生と9月中旬以降の寡照で不良。
46	411	98	95	93	93	北海道、東北では冷害、その他の地域でも台風(第23、25、26号(8月下旬～9月中旬))、及び病害の発生で作柄不良。
47	456	103	103	102	103	東海は9月中旬の台風第20号被害で作柄不良。北海道及び九州では作柄良。
48	470	105	107	106	106	全国的に好天候で初期生育から順調に経過し作柄良好、一部に干害発生。
49	455	102	103	102	102	梅雨により葉いもち発生し、東北、関東、東海で穂いもちが多発して作柄低下。その他地域はやや良。
50	481	104	105	106	107	9月中旬まで続いた残暑により全国的な大豊作。
51	427	100	95	94	94	北日本は冷害、西日本でも低温及び9月中旬の台風第17号の影響により登熟不良。
52	478	104	104	105	105	9月以降の好天候により全国的に登熟が良好。
53	499	106	107	108	108	7月以降全国的に高温・多照に経過し、生育、登熟共に良好。
54	482	102	103	103	103	全般的に好天候で生育は順調に経過。関東以西で長雨と台風第16(9月下旬)、20(10月中旬)号により一部地域で登熟不良。
55	412	99	91	88	87	7月以降全国的に低温・寡照の異常気象により冷害。さらに西日本では台風第13(9月中旬)、19(10月中旬)号の被害発生。
56	453	100	98	96	96	8月の豪雨、台風第15号とその後の低温等で登熟不良、北海道・東北で冷害。東海以西では生育・登熟良。
57	458	100	99	97	96	7月は東北、9月以降は関東を中心とした低温・寡照また、全国的に8月下旬から9月下旬の台風第10、13、18、19号の被害等で登熟不良。
58	459	100	99	97	96	北海道、東北及び関東の一部で冷害等。その他の地域では登熟期間の異常高温(北陸)、高夜温・寡照、病虫害(西日本)。
59	517	103	105	108	108	梅雨明け以降全国的に高温・多照に経過、被害の発生も極少で、生育、登熟共に良好。35都道府県で史上最高の単収。
60	501	103	105	105	104	梅雨明け以降高温・多照の天候に恵まれ、また、九州等一部の県を除いて被害の発生も少なく、生育及び登熟共に良好。
61	508	99	102	105	105	7月下旬後半以降好天候に恵まれ、また、台風の上陸もなく、病虫害も少なく、生育登熟共に良好。
62	498	103	103	102	102	北海道、中国及び九州では風水害、日照不足等で登熟が阻害されたが、その他の地域では天候に恵まれ生育登熟共に良好。
63	474	99	98	97	97	東北、関東・東山等で冷害、いもち病等が発生し登熟不良。北海道(道央)及び近畿以西では生育・登熟共に良好。
平. 元	496	101	101	101	101	東北・北陸は、登熟期の曇雨天等で登熟が阻害されたが、その他の地域では一部を除いて、生育及び登熟共に良好。
2	509	103	103	104	103	近畿以西の一部では、9月中旬～10月中旬の秋雨前線及び台風第19、20、21号により登熟が阻害されたが、その他の地域は生育・登熟共に良好。
3	470	99	98	95	95	道東・道南及び東北は低温と秋雨で登熟不良、北陸は日照不足で生育不良、中四国及び九州は台風により登熟不良。
4	504	101	101	101	101	北海道は冷害、都府県は一部に台風の影響があるが全般的には台風被害及び病虫害の発生が少なく生育、登熟共に順調。
5	367	95	80	75	74	7月以降の異常低温により北日本を中心として大冷害。西日本では台風、長雨による被害。更に全国的にいもち病多発。
6	544	105	107	109	109	田植期以降全国的に高温・多照の天候に恵まれ、被害も少なく、生育、登熟共に良好。39都府県で史上最高の単収。
7	509	100	102	102	102	初期生育は、低温・日照不足で抑制されたものの、梅雨明け以降東北・北陸を除き高温・多照の天候に恵まれ登熟順調。
8	525	101	102	104	105	田植期以降低温・日照不足により北日本で初期生育が抑制されたものの、出穂期以降天候に恵まれ全国的に登熟は良好。
9	515	102	102	102	102	出穂期以降おおむね好天に恵まれ、登熟は良好。一部の地域で9月中旬以降の低温・日照不足や台風第9号、19号の影響。
10	499	99	98	98	98	7月中旬以降の低温・寡照。8月に東北、関東及び北陸の一部の地域で集中豪雨。9月の台風と長雨で穂発芽被害。
11	515	103	102	101	101	近畿から東の地域ではおおむね天候に恵まれ登熟が順調。中国・四国、九州では台風第18号(9月24日)による被害。全国で高温による乳白、カメムシの被害発生。
12	537	103	103	104	104	北海道、東北及び北陸でもみ数やや少ない。北関東の一部で9月上旬の高温及びその後の秋雨前線の影響により登熟抑制も、全国的には7月以降おおむね天候に恵まれ順調。
13	532	—	103	103	103	北海道、東北太平洋側8月上旬以降低温・日照不足により登熟が緩慢も、その他の地域では7月以降概ね好天。北海道100、沖縄82の外は各地域で102～104。
14	527	—	101	101	101	北海道で7～8月の低温・日照不足によりみ数やや少なく、登熟もやや不良で作柄不良。青森、秋田で日照不足によりみ数少なく、作柄やや不良。関東以西は一部で台風等の影響があったが、天候に恵まれ作柄「平年並み」以上。
15	469	—	92	90	90	北海道、東北で7月中・下旬の低温による不稔もみ多発、9月中旬以降の低温やいもち病の多発による登熟不良等のため、北海道73、東北80、その他の地域(沖縄を除く)も、日照不足・いもち病の多発で93～96。
16	514	—	101	98	98	北海道から近畿にかけての太平洋側は概ね登熟良好。8月中旬以降相次ぐ台風、長雨の影響により北海道、東北及び北陸の日本海側、中国、四国及び九州で被害。
17	532	—	102	101	101	台風第14号や登熟期間の高温、ウンカ等病虫害の影響により、九州を中心に被害が発生したものの、それ以外の地域では登熟がおおむね順調。
18	507	—	97	96	96	日照不足等により北海道を除く地域で全もみ数が平年を下回った。九州を中心に台風第13号による潮風害等の被害が発生した。
19	522	—	99	99	99	7月は低温・寡照で経過し、南九州の早期米では台風第4号の影響による乳白米等が例年になく多発。登熟期間は高温・少雨傾向で経過し、関東以西で登熟がやや抑制。
20	543	—	102	102	102	低温・日照不足により初期生育が抑制されたものの、梅雨明け以降は天候に恵まれ生育は回復。台風の上陸もなく全般的に登熟は順調。
21	522	—	98	98	98	全国的に梅雨明けが遅く、7月の寡照でもみ数は抑制。9月の天候は多照で推移し、登熟はおおむね順調。北海道は冷害の影響で作柄不良。
22	522	—	99	98	98	5月中旬～6月上旬の低温・日照不足等によりみ数が抑制。梅雨明け後9月上旬まで全国的に記録的な高温で推移し、関東・東山及び中国では一部地域で白未熟粒等が多発。

注：平成12年産8月15日の作況指数は9月1日の値、平成16年産9月15日の作況指数は9月10日の値である。